

(公財) 地震予知総合研究振興会
長岡平野西縁断層帯の活動性評価に関する研究委員会 (第21回)

概要報告

1. 日 時 2020年10月27日(火) 13:30~17:00

2. 出席者

主査	東北大学	名誉教授	長谷川 昭
委員	東京大学	名誉教授	岩崎 貴哉
	長岡技術科学大学	教授	大塚 悟
	東北大学	准教授	岡田 知己
	東京大学地震研究所	教授	小原 一成
	地震予知総合研究振興会	会長	金沢 敏彦
	東京大学	教授	酒井 慎一
	名古屋大学	教授	鷺谷 威
	東京大学地震研究所	教授	佐藤 比呂志
	防災科学技術研究所	主任研究員	武田 哲也
	東北大学	准教授	中原 恒
	防災科学技術研究所	センター長	平田 直
	産業技術総合研究所	上級主任研究員	丸山 正
	横浜市立大学	教授	吉本 和生
事務局	(公財) 地震予知総合研究振興会		

(敬称略)

3. 議第

- (1) 2020年度上半期の活動報告等
- (2) 長岡平野西縁断層帯周辺の地盤構造等の検討—近地地震の表面波の解析—
- (3) 歪み集中帯での地殻の非弾性変形の理解と今後の研究展開：新潟中越地域の例

4. 委員会の状況

2020年度上半期までの活動報告として①地震活動状況等について、②GNSS観測結果等について説明があったのち、観測データを用いた解析等の幅広い分野における最新の調査研究について話題提供があった。

(1) 2020年度上半期の活動報告等

2020年度上半期までの活動報告が行われた。

- ① 本検討で整備した稠密地震観測網（AN-net）の維持管理状況および地震活動状況の説明が行われ、委員会では、地震活動の長期的時間変化の解釈等について意見交換が行われた。
- ② GNSS観測結果等について、データ処理の状況、長岡平野周辺の応力場等について説明が行われ、委員会では、歪み変化率とその時間変化等について意見交換が行われた。

(2) 長岡平野西縁断層帯周辺の地盤構造等の検討—近地地震の表面波の解析—

長岡平野西縁断層帯周辺を対象領域とし、地震観測網から得られた地震波形記録のスペクトル解析及びアレイ解析を実施し、表面波の伝播特性について検討した結果や、3次元地下構造を用いた地震波形の数値モデリング状況について紹介された。委員会では、地震波の到来方向ごとの表面波励起等に関して意見交換が行われた。

(3) 歪み集中帯での地殻の非弾性変形の理解と今後の研究展開：新潟中越地域の例

新潟中越地域を例に、褶曲構造の地形的変化及び複数の地層の変形メカニズム等について紹介され、今後の研究展開についても紹介された。委員会では、さらに広い範囲での変形の影響等に関して活発な議論が行われた。

5. 委員会の開催について

2020年3月2日（月）に開催を予定しておりました研究委員会につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、開催を中止いたしました。また、今回の第21回研究委員会に関しましても、出席者の健康と安全を考慮し、オンラインにて開催をいたしました。

以 上